

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○		○				○	

企業の概要

企業・団体名	株式会社グレース・ワン	本社所在地	東京都
業種	電気通信業	総従業員数	9名
事業概要	・ローカル5Gサービスプラットフォーム事業 ・地域広帯域移動無線アクセス(地域BWA) サービスプラットフォーム事業 ・ローカル5G及び地域BWA対応の端末及び基地局機器の運用、保守、販売、等		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則
テレワーク担当部署	管理部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	9名
平均実施日数	月12回以上20回未満程度(概ね週3〜4回)

テレワークの導入・拡大の経緯

1. 弊社は、昨年設立した会社であり、事業内容としては全国各地の地域事業者(特にケーブルテレビ事業者)がローカル5Gを導入することに対する支援を行っています。全国各地のお客様とのやりとりは、全国各地に足を運ぶのではなく、緊急対応含めWebツールを使ったりリモート会議でコスト効率を高めています。
2. 上記状況下コロナ拡大で3月からいち早く原則全社員在宅勤務措置を経て今年9月から、いつでもどこでも誰でも仕事ができる制度を開始したところ。その結果コロナ禍でも罹患者ゼロで全国各地での地域BWA・ローカル5G導入を着実に進めています。
- (2月地域BWA電波発射@愛媛CATV、5月地域BWA電波発射@高岡ケーブルネットワーク、能越ケーブルネット、6月地域BWA電波発射@鳥取中央有線放送、7月地域BWA電波発射@アドバンスコープ、8月地域BWA電波発射@岡山ネットワーク、7月ローカル5G電波発射@愛媛CATV、10月ローカル5G電波発射予定@ケーブルテレビ、J:COM、秋田ケーブルテレビ、11月ローカル5G電波発射予定@となみ衛星通信テレビ、ZTV、中海テレビ放送)
3. 本制度の導入により、多様な働き方を従業員が選択できるようになり、できる限り個々人の生活リズムや生活スタイルにあった働き方を行うことで、健康で充実した生活を実現し、業務生産性を高められることを目的とし、更なる制度拡大に取り組む予定です。(海外でのワーケーション、従業員の地方移住・地方勤務)

テレワークの概要・特徴

- ・**テレワーク制度の概要・特徴**
⇒テレワークの対象者は全社員とし、ICTを活用した、世界中どこでも勤務可能なフレックスワークプレイス制度と、テレワーク中でもフレックスタイム制度を導入導入したことにより、ワーケーションも可能となっています。これにより従業員がより柔軟に働けるような環境となり、業務生産性を高められると考えています。
- ・**テレワークの活用拡大や定着、効果的な運用のために工夫した点**
⇒グループウェア(Microsoft365)を導入し、teamsを活用。チャット、電話のハードルを低くすることで、常にコミュニケーションがとれる状況を作っています。
- ・**テレワークでの長時間労働を防ぐための具体的な取組**
⇒①タイムカードにて、月中(15日、25日)に残業時間をチェックしています。
②グループウェア(サイボウズ)でシステムにログした時間、ログオフした時間を自動取得し、労働時間を常に把握できるようにしています。
③残業をする場合には上長の承認を得る規定を設けています。
今後は、オンラインのタイムカードシステムを導入し、残業時間を一目でチェックできる様にする予定です。

- ・**その他、今後テレワークを導入する団体の参考になる知見 等**
⇒クラウドのワークフローシステム(freee)を使用することにより、過去の起案(契約書)の内容などもクラウド上から確認でき、また経理システムと連動させることにより、精算承認の際にも起案内容を確認でき、大変便利です。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- ・**テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果**(具体的な数値で記載)
⇒社員がほとんど出社しないことにより、オフィスの清掃費用15,000円/月分がマイナス、水道光熱はテレワーク開始前と比べて10分の1程度となっています。
⇒創業間もないため、昨年対比などの数字がお出しできませんが、通勤時間や打合せ場所への移動時間が無くなったことにより、効率的に仕事が行えるとの従業員の声があります。
- ・**テレワーク導入にあたり、ICTの利活用、地方への移住や地方活性化等の取組や成果**
⇒グループウェア(Teams)の導入により、テレワーク中であってもコミュニケーションがスムーズに取ることができ、社外との会議も99%オンラインにて行えるようになっていました。弊社は地方の会社との会議も多いのですが、以前は上京するタイミングを確認した上でスケジューリングしていたところ、上京タイミング関係なく会議設定ができるようになり、大変効率的です。
Teamsに会議システムの不具合があった場合には、WEBEX、skype、zoomも使えるようにし、確実に会議ができるように手当をしています。
クラウドサーバーの活用により、いつでもどこでも必要なデータを確認することができ、また、ワークフローシステム、経理システムもクラウドを使用し、起案承認や経費精算承認などをスピーディに行うことができています。
⇒地方からの出向者を受け入れています、地方在住のまま勤務することが可能となっています。
- ・**その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例**
⇒家族の介護を抱えている社員が、休暇を取ることなく仕事と介護を両立することができています。